

農村ホームステイ

町内小中学校教職員向けの農村ホームステイ事業がありました。これは、町内農家の協力のもと、農家宅での一泊二日のありのままの生活を体験し、農業のもつ魅力を知り、実体験をもとに食の大切さについて学ぶというものです。本校からも二名の教職員が参加しました。



今回は吉原さんにお世話になりました。
まずは挨拶をして、



早速、作業開始。



大豆畑の雑草取りをしました。



作業をしながらお話も伺いました。



作業の後は小麦の工場にも案内していただきました。



とれたての小麦はお米に似ていました。



次に大根の種について教えていただきました。



コンバインに乗せていただき、小麦の収穫も体験させていただきました。



夕食は東神楽産の小麦「キタノカオリ」を使ったラーメン。



二日目も作業をお手伝いさせていただき、お昼には、「キタノカオリ」を使った手作りパンをいただきました。

今回の体験で学んだことを、子どもたちに還元していきたいと思っています。